

画図小学校だより

令和7年(2025年)

2月10日号

文責：深川

2月の全校集会で話したこと ～詩「星とたんぽぽ」より～

2月4日(火)の朝は2月の全校集会でした。1年間でも最も寒い時期なので、体育館で一斉に集まるかたちではなく、放送室からのオンライン配信で校長が全校児童に向けて話をしました。

話の冒頭に、詩人金子みすゞさんの「星とたんぽぽ」という詩を紹介しました。その詩は「昼のお星」や「たんぽぽの根」などについてうたわれ、「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ」と結ばれています。

あくまでも私の解釈であることを前置きしたうえで、この詩は「見えていないものの存在に気づき、見えていないものも見えているものと同じように大切にすること」を言いたいのではないかなと話し、「今、自分からは見えないけれど、本当はそこにあって、大切にすべきもの」とは何か問いかけました。そして、目には見えない「心」について以下のように語りかけていきました。

- 目には見えない相手の心、お友達のことを思い浮かべてみましょう。そうすれば相手が傷つくような言動はできるでしょうか。
- 自分の心も意外と見えにくいものです。めあてや目標が達成できていなくても、がんばってきた自分の心、これからがんばっていく自分の心を認めていいですよ。

これまでも、「自分を大切に」「自分と同じように周りを大切に」ということを、折に触れ話してきました。子どもたちが自分を大切にすることが基盤となり、めざす主体的な力が伸びていくことを期待しています。

最後に、心とは少し離れますが「行動」についても話しました。「誰も見ていないときこそ正しい判断をすることを大切にしてほしい。心が正しい判断をすれば正しい行動ができるはずですね。」と伝えました。集会後に各学級でも、見えないけれど大切にしたいことについて話し合ってもらいました。

冬のキラリ紹介(その2)

この日は雪が降るかもしれないという予報がされていましたが、画図小周辺では朝から雪は降っておらず、登校にも影響はありませんでした。ところが全校集会の話をしてる最中に急に雪が降りだし、集会の時間が終わったころには運動場は真っ白に。子どもたちも、話の最中に雪がとっても気になったのではないかと思います。雪は積もることはありませんでしたが、この週は雪がちらつくことが多く、遠くの山も雪景色でした。

右の写真は2月6日(木)学校から西側の空を撮影したものです。遠くに見える山は長崎の雲仙です。6年生が修学旅行の時にフェリーから見た山です。その雲仙が白く雪化粧して、まるで富士山のようなようでした。

